

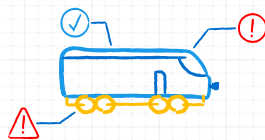
The INFRASTRUCTORS

エンドツーエンドの計画により 持続可能な物流を達成 エグゼクティブ・サマリー

鉄道は輸送手段の中で最も効率的な方法の一つであり、同様の貨物を道路輸送する場合と比べて最大で**9分の1の排出量**しか発生しません。



しかし、鉄道が世界中で持続可能な輸送手段として役割を果たすには、**さまざまな規制、技術、商業面の課題および突発的な混乱のリスク**に対処する必要があります。ここでバーチャルツインが役立ちます。

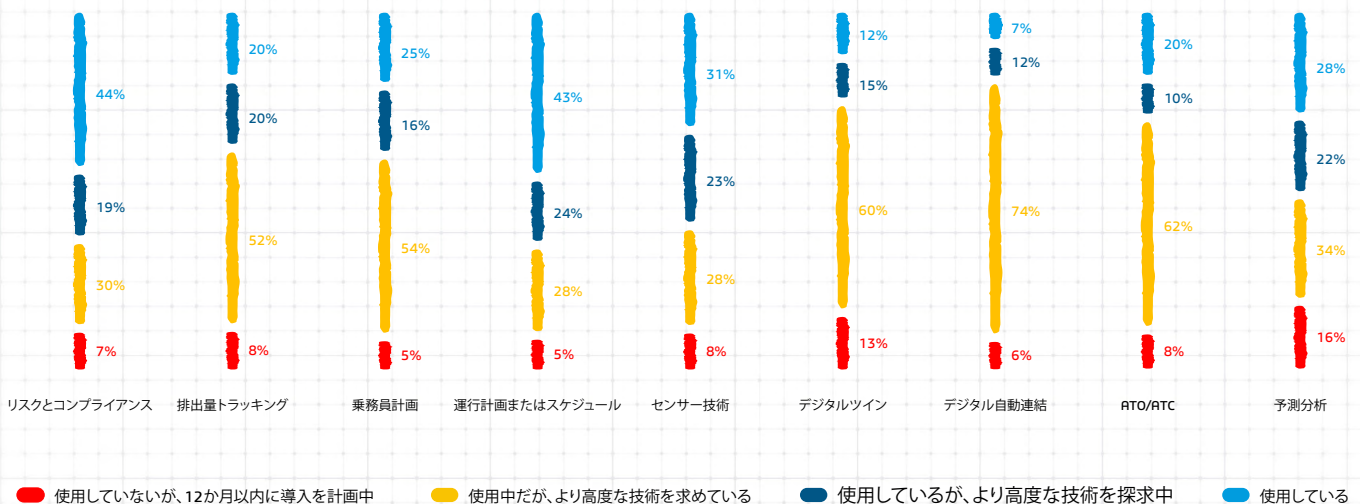


鉄道貨物輸送の変化する規制やガイドラインを管理するためにバーチャルツインを活用することは不可欠です。実際、**鉄道貨物事業者の44%がリスクやコンプライアンスに関して既にデジタル技術を採用しています。**



バーチャルツインは、**エンドツーエンドのシナリオをシミュレーション**し、鉄道運営計画、スケジュール要件、操車場、乗務員や車両管理や車両整備を含む**統合的な視点**を提供することができます。これにより、安全で効果的、かつ規制に準拠した運営を実現し、さらにはより環境に優しい運営の実現も支援します。

どのデジタル技術を使用していますか？



出典: Global Railway Review, The digital way in rail freight operations (ダッソー・システムズによる委託調査)

デジタル技術を活用することで、**鉄道事業者は運営やエンドツーエンドのメンテナンス・プロセスを効率化**できます。これにより、コストやダウンタイムの削減が可能となり、オペレーター、作業員、顧客にとって、より安全で信頼性が高く、経済的なサービスが実現します。

詳細については

[Infrastructorをご覧ください](#)

